

会 議 記 録

会議名称	令和 7 年度第 2 回 杉並区立郷土博物館運営協議会
日 時	令和 7 年 11 月 1 日(土) 午後 2 時から 4 時 10 分まで
場 所	杉並区立郷土博物館視聴覚室、特別展示室及び分館展示棟
出 席 者	委員 稲葉(会長)、高橋(副会長)、天野、新谷、手塚、新村、日吉 区側 生涯学習推進課長、郷土博物館長、事業企画担当係長、郷土博物館学芸員 3 名
配付資料	<配布資料> 1 令和 7 年度第 3 回杉並区区政モニターアンケート「郷土博物館について」集計結果報告書 2 杉並区立郷土博物館に係る基本的運営方針の改定について 3 協働と生涯学習支援に向けた杉並区立郷土博物館運営方針～区民とともに創る区民のための博物館～の改定に当たって 4 令和 7 年度杉並区立郷土博物館特別展「昭和歌謡は杉並から生まれた テイチク東京吹込所物語」チラシ・図録 5 令和 7 年度杉並区立郷土博物館企画展「片山春帆がみたすぎなみの農風景」チラシ・図録 6 令和 7 年度杉並区立郷土博物館 出前型展示「訪ねて見る建築 杉並浄水場」チラシ 7 令和 7 年 10 月発行 炉辺閑話 No. 73
会議次第	1 挨拶 生涯学習推進課長 2 報告 令和 7 年度第 3 回杉並区区政モニターアンケートについて 3 議題 (1) 杉並区立郷土博物館運営方針の改定について (2) 令和 7 年度杉並区立郷土博物館特別展「昭和歌謡は杉並から生まれた テイチク東京吹込所物語」視察 4 その他 (1) 次回の運営協議会について
(意見等要旨)	
1. 各報告及び議題について配布資料に基づき説明等行い、進めた。内容は以下のとおり。 ○報告について 事務局から令和 7 年度第 3 回杉並区区政モニターアンケートの集計結果について報告。委員から次の意見があった。 ・過去同様のアンケートがあれば比較してみてはいかがか。 ・地域史、郷土研究は昔を知り変化を知るために大切であり、杉並ではそれを中心とした事業ができる。 ・近辺の施設と合わせて回遊できるような工夫をすると認知度が上がるのではないか。	

- ・博物館で資料収集を行う意義を、例えば収蔵展示などでアピールできないか。
- ・学校教育と家庭教育が密に連携するような取組を考えられないか。

○議題について

(1) 杉並区立郷土博物館運営方針の改定について

- ・資料 2 について生涯学習推進課長から説明。

【内容】令和 5 年 4 月 1 日施行の博物館法の改正で登録博物館の登録審査基準見直しが行われ、当館は再登録申請手続きを行う対象となっている。再登録申請に向けて「基本的運営方針」の改定が求められており、平成 22 年 12 月に策定した「基本的運営方針」につき、令和 7 年度中に運営協議会の意見をまとめた。改定に当たっては、運営協議会での意見徴取、区政モニターアンケートを使用した区民要望を踏まえることとする。

- ・資料 3 について館長から説明。

【内容】現在の社会の状況や教育・博物館を取り巻く変化に合わせた内容にしていくべき部分及び法改正や区の計画策定・改定、それに伴う教育ビジョンの改定などに基づき、修正や追加が必要な部分について説明。

委員からは次のような意見があった。

- ・全体的にネガティブな表記がみられるので、改定に当たっては「より一層向上させていく」といった表記をしてよいのではないか。
- ・収蔵庫の課題が大きい。新しい収蔵方針が必要ではないか。
- ・区政モニターアンケート集計結果報告の際に出された意見等も参考にしてはどうか。

(2) 令和 7 年度杉並区立郷土博物館特別展「昭和歌謡は杉並から生まれたテイチク東京吹込所物語」視察

担当学芸員の解説により特別展を視察した。

○その他

(1) 生涯学習推進課長から、谷川邸及び谷川俊太郎資料について現況の説明があった。

(2) 次回の運営協議会について、杉並区立郷土博物館運営方針改定案を事務局で作成、全委員に送付して、次回運営協議会で意見徴取することが了承された。また、第 3 回運営協議会の開催候補日が挙げられた。